



## 年頭に当たって

(一社) 日本養鶏協会 会長 齋藤利明

あけましておめでとうございます。  
昨年中は格別のご厚情にあずかり心からお礼申し上げます。  
令和3年の年頭に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は11月上旬から香川県で高病原性鳥インフルエンザが爆発的に発生し、その後西日本を中心に広がりその勢いは衰えを知りません。まずは不幸にして被害にあわれた方々には心からお見舞い申し上げます。

日本養鶏協会は11月4日に高病原性鳥インフルエンザ対策本部を立ち上げ、11月17日に第2回鳥インフルエンザ問題対策委員会を緊急に開催しました。委員会では地域の防疫措置の状況を現場の委員から聴取し、当協会の今後の対応方針などを話し合いました。

日本養鶏協会では協会独自の鳥インフルエンザ経営再建保険を扱っています。残念ながら発生農場におけるこの保険の加入は十分ではなく、家畜防疫互助基金についても言えることです。この機会に家畜防疫互助基金と併せて、当協会の会員になっていただき保険に加入していただければと思います。

最後に卵価については令和2年長かった低卵価のトンネルからようやく回復したのも東の間、3月以降新型コロナウイルス感染症が広がりました。4月7日政府による緊急事態宣言以降鶏卵需要の半分を占める業務・加工用の荷動きは著しく落ち込み、今なお低卵価が続いています。

昨年4月から始まった第4期鶏卵生産者経営安定対策事業の下でも一向に卵価は上昇しません。事業を前倒しで実施し、生産者積立金も国庫も残額が薄くなり昨年9月以降の事業運営は容易ではありません。

養鶏業界は非常に厳しい環境の中にあります。鳥インフルエンザの防疫徹底、更なる発生に備えて家畜防疫互助事業への助成、鶏卵生産者の経営安定などを国に要望しました。

全国の鶏卵生産者わけても中小の鶏卵生産者が安心して地域に根差した生産を継続していくために、この難局を乗り越えなければなりません。我々養鶏家は解決すべき難題に一丸となって取組む所存です。

本年もより一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、日本養鶏協会会員一同、心よりお願い申し上げます。鶏卵生産者の皆様にも2021年が難局を乗り越えた先の実りある年となりますよう、皆様のご健勝とご発展を心よりお祈り申し上げ年頭のご挨拶といたします。



INDEX

- ・令和3年度 畜産物価格等に関する要請について..... 2
- ・令和3年度 農林水産省概算決定について..... 3
- ・高病原性鳥インフルエンザの防疫の徹底について..... 4
- ・鶏卵公正取引協議会からのお知らせ..... 5
- ・令和3年度 鶏卵の補填基準価格及び安定基準価格の決定について..... 8
- ・配合飼料供給価格の動向..... 8
- ・統計データ..... 9
- ・協会活動報告..... 10

## 令和3年度 畜産物価格等に関する要請について

令和2年12月2日、自民党畜産・酪農対策委員会（伊東良孝委員長）が自民党本部で開催され、4日には自由民主党畜産振興議員連盟総会（野田毅会長）がキャピトルホテル東急で開催されました。

日本養鶏協会の齋藤会長は、令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業に係る基準価格の決定に当たり、下記の要望書を提出しました。

(要望書)

令和2年12月2日

### 令和3年度 畜産物価格等に関する要請

一般社団法人 日本養鶏協会 会長 齋藤 利明

我が国の養鶏産業の振興につきましては、日頃より格別のご支援、ご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

卵価についてはコロナ禍の影響により鶏卵の需給は極めて厳しい状況にあります。

また高病原性鳥インフルエンザ発生の影響で鶏卵生産者の経営が脅かされる事態が生じております。

こうしたことを踏まえ、来年度の基準価格決定を含め畜産政策の策定に当たりましては、以下の点について特段のご配慮をお願いします。

1. 鶏卵生産者経営安定対策事業については、鶏卵生産者の経営安定を担保したうえで、鶏卵需給の安定を図り、成鶏更新・空舎延長事業の事業効果が発揮できるよう必要かつ十分な予算を確保すること。
2. 鶏卵生産者経営安定対策事業に係る基準価格の決定に当たっては、近年の卵価動向を踏まえつつ、生産コストに見合った鶏卵の再生産が可能な水準とすること。
3. 高病原性鳥インフルエンザの蔓延を抑えるとともに、防疫措置徹底のため生産者が整備する防疫用資材等（防鳥ネット等）の予算措置を図ること。
4. 畜産クラスター事業等競争力強化に係る事業において、鶏卵の需給に配慮し、増羽を抑制しつつ、引き続き、中小規模生産者にも使い勝手がよい事業とすること。



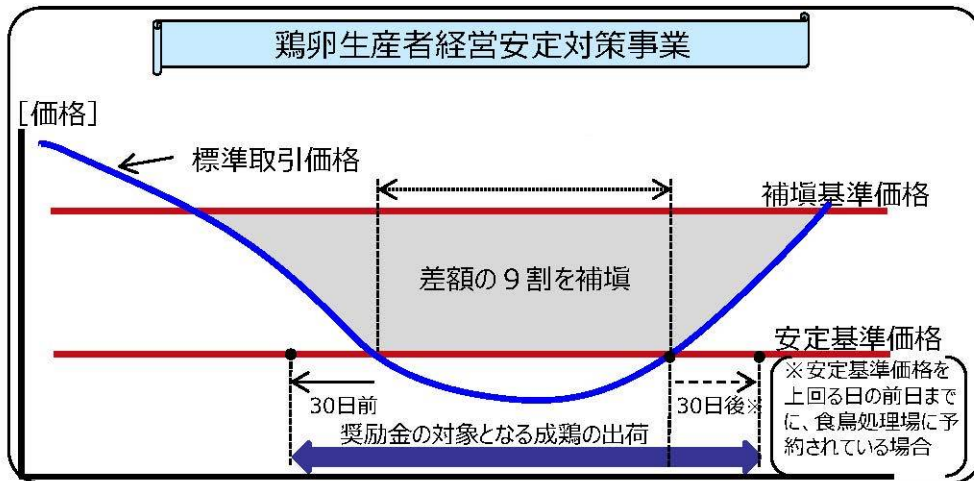
5. コロナ禍の影響を克服できるよう、経営継続補助金を拡充するとともに、運転資金対策の融資枠を拡充し、融資条件を緩和すること。
6. 将来的に卵価の安定を目指すため、採卵鶏の雛の需給情報を提供する体制の整備を検討すること。

## 令和3年度 農林水産省概算決定について

農林水産省より令和3年度農林水産関係概算決定の概要が公表されました。鶏卵生産者経営安定対策事業概要は以下の通りです。

### 鶏卵生産者経営安定対策事業

令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業の予算額は、前年度と同額の51億7千万円が計上されました。事業内容についても変更はなく、令和2年度と同じ事業内容で実施することとなっています。



## 令和3年度 鶏卵の補填基準価格及び安定基準価格の決定について

農林水産省は「令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業」において、鶏卵価格が低落した場合に発動の基準となる「鶏卵価格差補填事業」の補填基準価格及び「成鶏更新・空舎延長事業」の安定基準価格を決定、令和2年12月9日、公表しました。令和3年度の補填基準価格は181円/kg、安定基準価格は159円/kgであり、前年と比較し2円の下げです。

	令和3年度	令和2年度	平成31年度
補填基準価格	181円/kg	183円/kg	185円/kg
安定基準価格	159円/kg	161円/kg	163円/kg



## 高病原性鳥インフルエンザの防疫の徹底について

高病原性鳥インフルエンザの発生拡大により、農林水産省の公表によりますと、令和3年1月6日時点で、国内34例が確認されており、さぞかしご心配のことと存じます。

2020年11月27日発信の日鶏協回覧板NO. 11において、高病原性鳥インフルエンザの防疫の徹底をご案内しており、会員各位におかれても十分ご留意のことと存じますが、重ねての防疫の徹底を宜しくお願いいたします。

- (1) 人・車両等による侵入の防止
- (2) 野鳥・野生動物による侵入の防止
- (3) 飲用水・飼料の汚染による侵入の防止
- (4) 鶏舎内外の整理・整頓・清掃
- (5) 鶏の健康管理及び取扱い
- (6) 鶏糞の処理
- (7) 鳥インフルエンザに対する理解と教育

### ■高病原性鳥インフルエンザの防疫の徹底を！！

[https://www.jpa.or.jp/news/general/nikkei/2020/20201127\\_01.pdf](https://www.jpa.or.jp/news/general/nikkei/2020/20201127_01.pdf)

### 【鳥インフルエンザ経営再建保険】

鳥インフルエンザ経営再建保険（保険期間：令和3年2月1日～令和4年1月31日）の留意事項を、後記のとおりご案内します。ご確認宜しくお願いいたします。

- ・保険会社支払いの合計が年間の限度額10億円に達した場合、保険契約は終了します。
- ・令和3年2月1日時点で鳥インフルエンザが発生している場合の新規保険の効力の発生時期は、以下のとおりとなります。

- (1) 令和2年2月1日～令和3年1月31日の保険契約に、既に参加している農場
  - ① 発生農場の場合  
都道府県知事による経営再開が許可された日。
  - ② 移動制限農場の場合  
都道府県知事により移動制限が解除された日（一部解除は除きます）。
- (2) 令和3年2月1日から新たに加入する農場の場合  
当該都道府県内において全ての移動制限が完全に解除された日（一部解除は除きます）。

### 【お問い合わせ先】

**（一社）日本養鶏協会 業務第1部 03-3297-5515**



## 鶏卵公正取引協議会からのお知らせ

### 日本食品標準成分表 2020年度版(八訂)が公表されました

主  
な  
成  
分

ビタミンE : 1.3 mg ← 1.0 mg	DHA : 72 mg ← 120 mg
ビタミンD : 3.8 μg ← 1.8 μg	α-リノレン酸 : 29 mg ← 43 mg
ヨウ素 : 33 μg ← 17 μg	
コレステロール : 370 mg ← 420 mg	(鶏卵:全卵 生/可食部 100 g 当たり)

文部科学省科学技術・学術審議会資源調査分科会は、2020年12月25日に日本食品標準成分表2020年版(八訂)を公表いたしました。(詳細は下記文部科学省HPをご参照下さい。)

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/syokuhinseibun/](https://www.mext.go.jp/a_menu/syokuhinseibun/)

鶏卵(全卵・生)の可食部100g当たりの栄養成分値は以下の通りです。

### 日本食品標準成分表 2020年度版(八訂)

(全卵・生 / 可食部 100 当り成分値) ※印は 10%以上増減したもの

栄養成分	2020年度版 (八訂)	2015年度版 (七訂)	単位
エネルギー	142	151	kcal
水分	75.0	76.1	g
たんぱく質	12.2	12.3	g
脂質	10.2	10.3	g
※ コレステロール	370	420	mg
※ 炭水化物	0.4	0.3	g
食物繊維	0	0	g
ナトリウム	140	140	mg
カリウム	130	130	mg
※ カルシウム	46	51	mg
マグネシウム	10	11	mg
リン	170	180	mg
※ 鉄	1.5	1.8	mg
※ 亜鉛	1.1	1.3	mg
※ 銅	0.05	0.08	mg
マンガン	0.02	0.02	mg



	栄養成分	2020年度版 (八訂)	2015年度版 (七訂)	単位
※	ヨウ素	33	17	μg
※	セレン	24	32	μg
	クロム	0	0	μg
※	モリブデン	4	5	μg
※	レチノール	210	140	μg
	α-カロテン	Tr(微量)	0	μg
※	β-カロテン	1	3	μg
※	レチノール活性当量	210	150	μg
※	ビタミンD	3.8	1.8	μg
※	ビタミンD (活性代謝物含まず)	1.3	0.9	μg
※	ビタミンE	1.3	1.0	mg
	ビタミンK	12	13	μg
	ビタミンB <sup>1</sup>	0.06	0.06	mg
※	ビタミンB <sup>2</sup>	0.37	0.43	mg
	ナイアシン	0.1	0.1	mg
※	ビタミンB <sup>6</sup>	0.09	0.08	mg
※	ビタミンB <sup>12</sup>	1.1	0.9	μg
※	葉酸	49	43	μg
※	パントテン酸	1.16	1.45	mg
	ビオチン	24.0	25.4	μg
	ビタミンC	0	0	mg
	食塩相当量	0.4	0.4	g
※	ドコサヘキサエン酸 (DHA)	72	120	mg
※	α-リノレン酸	29	43	mg

### 【2020年度版(八訂) 改訂説明】

「ビタミン等の成分値は飼料に含まれる成分を反映するため、特殊な栄養成分を補強した卵類も市販されているが、本表では特殊な栄養強化飼料を給与していない通常の鳥卵の成分値を収載した。なお、分析値を得るために収集した市販鶏卵において、特殊な栄養強化飼料を給与したと示されていないものであっても、従来の収載値と比較してビタミンEおよびD量が著しく高いものが見いだされた。これは、何らかの理由でビタミンEやDが強化された飼料の給与により生産された鶏卵が通常卵として流通しているものと考えられる。収集した市販鶏卵のビタミンEおよびD量を統計解析手法の一つである判別分析に供した結果、これら検体はビタミンEおよびD量が高いものと高くないものに明瞭に分類できた。この分類において、ビタミンEおよびD量が高くないものに分類された検体を通常卵とし、収載値はこれら通常卵の分析値に基づき決定した。」





## 【解説】日本食品標準成分表改訂に伴う鶏卵表示について

「栄養強化卵」などの栄養強調表示（増強した、○%アップ、○倍といった相対表示の場合）や食品表示基準の対象外の成分について分量の多寡を強調して表示をする場合には、比較対象として「普通卵」のデータを表示することになっています（※）。

鶏卵公正競争規約では「普通卵」のデータは、最新の日本食品標準成分表に記載されている数値とすることとされていますので、今回の改定により、この普通卵の栄養値データが変わることになります。

栄養成分表示は、鶏卵の場合は任意表示（表示しなくてもよい）ですが、栄養成分を表示している場合で、普通卵の栄養成分値を表示している場合は、今後、順次ラベル等の表記を変更することが必要になりますので、ご準備の程、宜しくお願い申し上げます。

- （※）単に栄養成分を表示する場合や、栄養成分の補給ができる旨の基準値を満たしている場合の「高い」「含む」などの絶対表示の場合には、他の鶏卵との比較ではありませんので、必ずしも「普通卵」の表示は必要ではありません。

鶏卵公正取引協議会 事務局 ([https://www.jpa.or.jp/keiran\\_root/](https://www.jpa.or.jp/keiran_root/))

E-mail : [teritama@jpa.or.jp](mailto:teritama@jpa.or.jp)

Tel : 03-3297-5516

担当 : 重本、田淵、太田



会員証紙  
(公正マーク)

## 配合飼料供給価格の動向

令和3年1～3月期の配合飼料供給価格については、飼料情勢・外国為替情勢等を踏まえ、令和2年10～12月期に対し、全国全畜種総平均トン当たり3,900円値上げすることを決定しました。なお、改定額は、地域別・畜種別・銘柄別に異なります。

区分	1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期
令和3年	↑3,900	—	—	—
令和2年	↑ 700	▼ 800	▼1,000	↑ 1,350
令和元年	↑ 500	▼ 850	▼ 400	▼ 650
平成30年	↑1,500	↑1,100	↑1,550	▼ 800
平成29年	↑1,950	↑ 700	▼1,100	▼ 400

出典：全国農業協同組合連合会（JA全農）「配合飼料供給価格」

### ■令和3年1～3月期の配合飼料供給価格改定について

<https://www.zenoh.or.jp/press/release/2020/79612.html>



# 統計データ

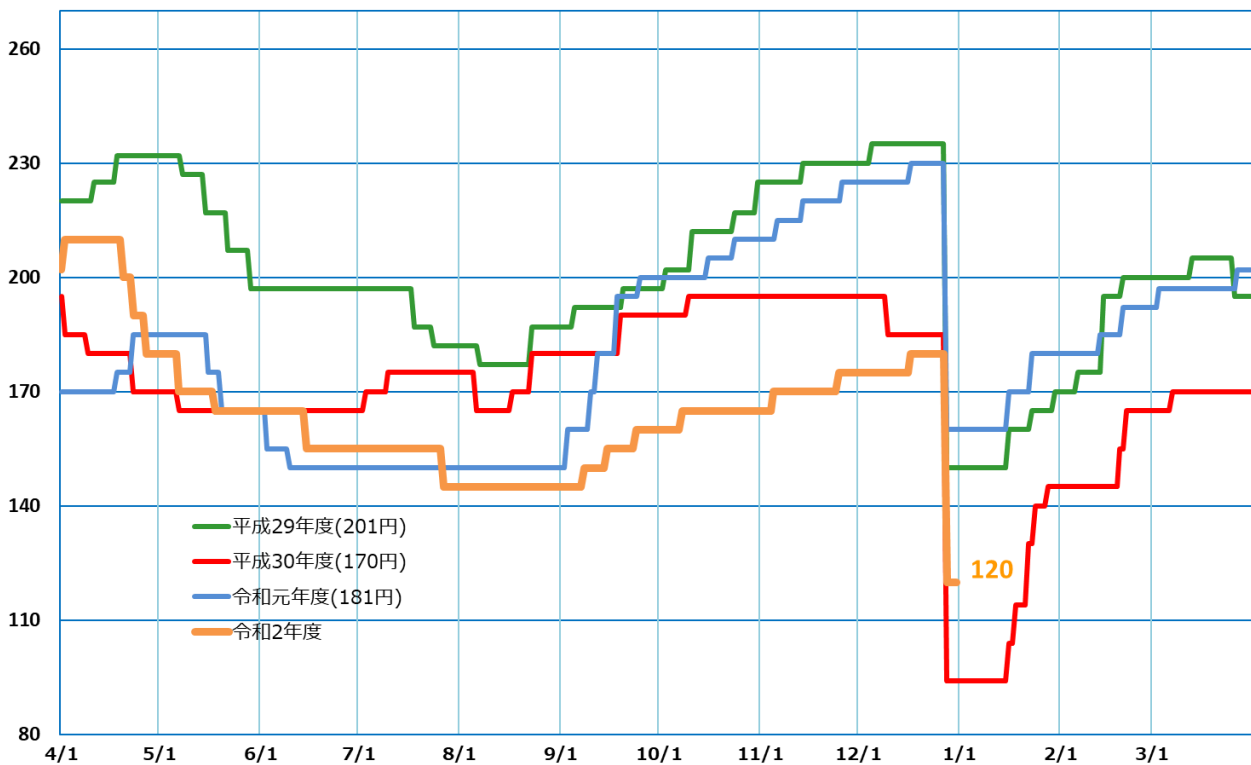
## 鶏卵相場動向 — 過去10年間の12月相場 東京全農Mサイズ 円/kg

	平均値	高値	安値
平成23年	195	213	189
平成24年	230	248	224
平成25年	280	298	274
平成26年	248	268	239
平成27年	255	273	249
平成28年	245	263	234
平成29年	234	253	224
平成30年	188	213	179
令和元年	227	230	219
令和2年	178	205	169
平均値	228	246	220

令和2年12月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）の高値（205円）は、過去10年の平均値246円を大幅に下回り（41円安）、安値169円も、過去10年の平均値220円を51円下回っています。



## 鶏卵相場推移 2017年～2020年 東京全農Mサイズ 円/kg



12月の相場は179円まで上がりましたが、年末120円まで下がりました。鳥インフルエンザ発生もあり、今後の生産動向に注視が必要です。





## 鶏卵関係主要計数 —— 令和2年10月までの年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
	数量(千羽)	前年比	成 鶏 用		一人当たり		東京全農M	
			数量(千ト)	前年比	数量(g)	前年比	前年	本年
元年 1 1月	9,593	99.0%	489	98.1%	880	97.7%	195	219
1 2月	8,868	101.8%	526	99.3%	917	98.2%	188	227
2年 1月	10,152	104.6%	482	99.5%	827	93.9%	121	170
2月	8,509	102.6%	473	102.0%	926	112.0%	152	185
3月	10,112	112.4%	499	100.8%	1,014	110.9%	169	197
4月	9,292	100.7%	501	99.5%	1,036	115.2%	174	202
5月	9,606	102.6%	472	94.6%	1,031	114.4%	173	168
6月	9,353	112.8%	470	102.9%	936	101.8%	151	160
7月	9,863	100.2%	484	98.5%	966	108.4%	150	153
8月	8,298	104.2%	444	97.2%	931	107.1%	150	145
9月	8,025	89.6%	456	101.6%	908	104.8%	179	153
10月	8,978	100.1%	489	98.4%	983	105.8%	204	164
1年間合計 平均(%)	110,649	102.6%	5,785	99.4%	11,355	105.9%	167(平均)	179(平均)

- ・雛餌付羽数は、8,978千羽（前年比100.1%）と前年比0.1%増となりました。
- ・配合飼料出荷量は、489千トン（前年比98.4%）と前年比1.6%減です。
- ・鶏卵の家計消費量は、983グラム（前年比105.8%）と前年比5.8%増となりました。
- ・鶏卵相場は、前年平均の40円安を示しました。

### 協会活動報告

#### 鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)

①価格差補填事業の事業参加者との  
契約数量（トン/月当たり）

平成29年度	162,353
平成30年度	169,171
令和元年度	167,141
令和2年度	163,160

②令和2年度12月の標準取引価格 182.48円/kg

令和2年度補填基準価格 183円/kg

令和2年度安定基準価格 161円/kg

日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会  
〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内(5階)  
TEL：03-3297-5515 FAX：03-3297-5519 発行日：2021年1月7日  
編集・発行責任者：浅木 仁志(info@jpa.or.jp)